

父母連ニュース

草加市保育園父母会連合会 機関紙

2010年度 第8号/2011年2月19日発行

発行責任者：高山 943-2616

表面：市長懇談会報告

裏面：第19回草加子育てのつどい報告、2010年度子育て団体交流会報告



完全給食実現・延長保育充実に向けて前向き回答！

田中和明新市長との市長懇談会報告

草加市保育園父母会連合会会長 高山幸一郎

2月7日(月)18:30~草加市役所西棟5F会議室において、父母連と田中市長をはじめとする保育行政関係部署との市長懇談会が行われました。当日は平日の忙しい中でしたが、各園から多くの参加がありました。みなさん本当にありがとうございました。また懇談会後に保育課から正式な回答書(事前提出していた要望書に対する回答書)が届いています。各園の代表者にお渡ししてありますので、ぜひみなさんで回覧して目を通してください。以下は当日のやりとりの概要です。

①質の高い草加の保育の維持・向上について

- ・今年度から入園申し込みの際には、就労の状況や家庭環境を素点とした入園の緊急度の基準(例えば一人親家庭は〇点、父母が共働きでフルタイムだと〇点等)として公開しているとのこと。
- ・新規の民間認可保育園は全て、草加市内や他市において保育園の運営実績がある。なので保育士の確保や保育内容の充実については安心してほしいとのこと。
- ・民間でこれまでにないサービス(夜8時までの延長保育、朝食サービス、布団の支給等)が行われることによる公立との格差については「民間ならではの公立でこれまで行われなかったサービスを始めてもらうことにより、草加の保育全体の底上げにつながる」とのこと(公立・民間が相互に刺激し合うことになるとの市側の見解)。

②公立保育園の存続意義と今後の建て替え対応について

- ・草加市の方針としては「民間が整備できたから公立を閉鎖するという計画自体はない」とのこと。ただし、現在老朽化が激しい一部の園については建築法の制約があり、現在の土地にそのまま新園舎を建てることができず(500㎡以上の建物は6m道路に隣接していなければならないという制約がある)、また近隣に代替地もないことから、将来的には近隣に民間保育園が整備されていれば「閉園となる可能性は否定しない」とのこと。

③草加市における0歳児保育のあり方について

- ・これまで草加市が策定していた「草加市における0歳児保育施設の整備方針」(家庭保育室を増やししながら段階的に公立保育園の0歳児保育を家庭保育室へ移行する方針)については、現在「休止状態」であるとのこと。その理由として、時限的な予算として国からの補助金(安心子ども基金:総予算2500億円)が「緊急整備計画」として浮上してきた関係で、それを利用して待機児解消をすすめることが草加市全体の利益になる(ほとんど市の持ち出し負担することなく民間認可保育園を建設できるため)と判断し、そちらに注力するために整備方針を休止にしている、とのこと。
- ・そもそも「家庭保育室整備計画(素案)」として存在してきた計画を「整備方針」としたことについては、「方針」とすることで、その時々々の情勢や待機児の推移に合わせて柔軟に対応することができる(方針転換ができる)ことが目的。現在はそれに該当する、とのこと。
- ・整備方針にある「家庭保育室と公立園との合同行事」や「家庭保育室への定期的な看護師訪問」等については、0歳児の待機児があるうちはその解消を優先し、それらが解消され、0歳児保育の移行が完了した後に実施できるものと考えているとのこと、つまりは当面は実施しないという市側の見解。

④父母連アンケートで要望の高い項目(保育料引き下げ、完全給食、病児・病後児保育等)について

- ・限りある財源でも保育園を運営しているため、現在保育料の引き下げは考えていない。しかし引き上げも考えていない。また国の「保育料基準」が見直され、現在は上限が10万4000円(3才児クラス未満)となり、相対的に草加市の保育料が他市に比べて著しく高いという状況でなくなった、とのこと。
- ・完全給食については、新市長となって方針が変わり、前向きに検討していく予定。ただ施設整備が必要な園もあることから、整備が必要ない(調理室のスペースがすでに確保されている)園から順次行っていくことになるとのこと。またその際には父母会の協力や主食代の実費負担をお願いすることになる、とのこと。
- ・病児・病後児保育については、現在行われているファミリーサポートへの委託事業の他、新規の民間認可保育園では「体調不良型保育」(保育中に体調が悪くなった子どもを母親が通常迎えに来る時間まで保育園で預かるというもの)を行う予定。
- ・延長保育の全園実施については、23年度からやはず保育園で延長保育を実施できる見通しとのこと。また延長保育が行われていない園については、取り急ぎ土曜日の時間外保育時間を午後6時半までに延長することを検討しているとのこと。

⑤その他(当日参加者から)

- ・さかえ保育園園庭工事が遅延している件については、市長自ら「今後は誠実に対応していきます」と明言。また「入園に際して不平等な扱いがされているのではないか」との質問には「そういうことはないと思っているが、再度職員へそのようなことがないよう指示していく」とのこと。

このように、まだまだ私たちの要望が全て実現したとはいえませんが、完全給食や延長保育について非常に前向きな回答をいただくことができました。田中新市長のもとでの草加市の保育政策充実に今後も大いに期待しながら、私たち保護者も市のがんばりを引き続き応援していきたいと思っています。今後もご理解とご協力よろしく願います。

盛会となりました！「第19回草加子育てのつどい」報告

～2月13日（日）高砂コミセン・あずま保育園～ 実行委員長 中島幸代

今回で19回目を迎える「草加子育てのつどい」は、父母連・市職労保育部会に加え、家庭保育室・NPO法人さくらんぼ・NPO法人こども広場草加親子劇場にも賛同していただき、共催という形で開かせていただきました。来賓として埼玉県議会議員の山川百合子様、谷古宇勘司様、蒲生徳明様、草加市議会議員の瀬戸健一郎様にご来場いただきました。大人が100名・子どもが80名と、3連休にもかかわらず多くの方に参加していただきました。

講演会には小松崎春代先生（元東久留米市保育園園長）をお招きし、「みんなで子育て～ママ・パパひとりではがんばらないで～」をテーマにお話をしていただきました。子どもたちのエピソードを交えて、それぞれの年齢の発達について、分かりやすくお話していただきました。「1.2歳が原点」「受け止めてあげる大切さ」「子どもはけっこう大人の言葉に傷ついている」などの言葉に、ハッとさせられました。保育園退職後、現在は未就園児が遊べる場を作られ、今もなお子どもと保護者と向き合いながら子どもの成長を考えられている先生の暖かいお人柄が伝わってくる、素敵なお話ばかりでした。

また、保育情勢についても触れていただき、東久留米市の公立保育園の閉園・民間委託の経験のお話では、「大人の都合で」「さみしい思いをするのは子ども」というエピソードに、多くの方が涙を流しました。新保育制度についても触れていただき、これからの保育についてみんなで考えていかないと、と気持ちを新たにしました。

以下に来場者の感想をいくつか紹介します。

- 「そうそう」と思うことばかりのお話で、思わずウルツときてしまいました。親はどう関わっていったらいいのか、先生方がどんな思いで保育に関わっているのか、たくさんヒントをいただきました。
- 今の子どもたちのかけがえのない成長をみていかないとならないと思いました。
- つながりの大切さ、関わりの大切さを具体例を交えながらの



あずま保育園では、劇団風の子による「風の子パズール」が公演されました。世界の民話を紹介しながら、パントマイムあり、手品あり、生演奏ありの充実した1時間でした。子どもたちの笑いも響く楽しい舞台上、「まるで世界旅行をしている気分」という感想もいただきました。



パネル展示は、家庭保育室・NPO さくらんぼ・NPO おやこ劇場・冒険広場・獨協大学地域と子どものリーガルセンターが参加し、それぞれの活動を写真等も盛り込んで紹介してくださいました。父母連からも子育てサポート紹介や、保育新制度に関する情報を紹介しました。充実した情報提供の場となりました。



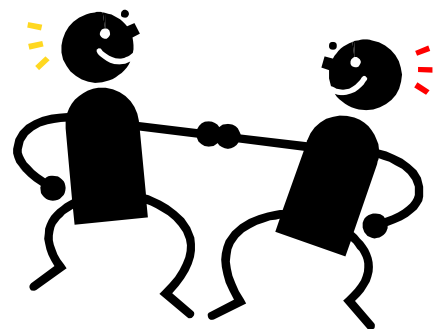
ご協力して下さった方々、参加して下さった方々、どうもありがとうございました！

2011年度 第11回 子育て団体交流会 報告

父母連会長 高山幸一郎

2/13（日）13:30～15:30 高砂コミュニティセンターにて「第11回草加子育て団体交流会」を父母連として企画・開催いたしました。今回は、「NPO法人こども広場草加おやこ劇場／7つの家庭保育室／NPO法人草加・元気っ子クラブ／学童保育の会／NPO法人さくらんぼ／獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンター／草加市立保育園保育士／父母連事務局」の各団体代表者が集まり、各団体の現状と課題などについて、情報交換をしたり、今後の草加市の子育てについて話し合ったりしました。

具体的には、草加市の0歳児保育をめぐる情報交換を中心としながら、今後増えていくであろう民間認可保育園について「第三者機関による評価システムの導入を求めていくべき」との提案がなされたり、「草加の子育てについて、関係者がオープンに存分に議論できる場を設け、草加市の子育てビジョンを考えていく必要がある」などの意見が出されたりしました。また家庭保育室の先生方から「父母連とより情報を共有・交換していくことが必要」とのご意見もいただきました。私たち父母連としても、家庭保育室や保育園



の先生方とより緊密な連携をしていきたいとの思いを新たにしました。

今回の交流会を通して、子育て団体同士の情報共有の大切さを実感するとともに、父母連としても、今後も草加市全体の子育てを大きく視野に入れた、よりよい子育て環境を模索していくことの大切さを感じました。